



東京芸術大学

NIPPON



日本

が見た  
西洋音楽

出演

- 安良岡章夫 (指揮)
  - 黒田祐貴 (バリトン)
  - 松岡多恵 (ソプラノ)
  - 根本真澄 (ソプラノ)
  - 向山佳絵子 (チェロ)
  - 江口玲 (ピアノ)
  - 谷本喜基 (合唱指揮)
  - 片山杜秀・仲辻真帆 (お話)
- 東京芸術大学音楽学部有志を中心としたオーケストラ・合唱

- 信時潔 《いろはうた》
- 信時潔 《いろはうた》 (クラウス・プリングスハイム編曲)
- 高田三郎 《山形民謡によるバラード》 (岡崎隆編曲)
- クラウス・プリングスハイム 《山田長政》 (小島夏香補作)

楽譜：東京芸術大学附属図書館所蔵

藝大プロジェクト 2024

15:00 開演 (14:15 開場)  
 東京芸術大学演奏堂 [大学構内]  
 各公演 全席自由 一般 3,000 円 学生 1,000 円  
※当日は学生証をお持ちください。

2024 年 10 月 20 日 [日]  
 第 1 回 「西洋音楽が見た日本」

2024 年 11 月 23 日 [土]  
 第 2 回 「日本が見た西洋音楽」

主催：東京芸術大学演奏芸術センター・東京芸術大学音楽学部  
 協力：「共生社会」をつくるアートコミュニケーション共創拠点



# 第2回「日本が見た西洋音楽」

藝大プロジェクト 2024

## 幻の作品が復活！ クラウス・プリングスハイム《山田長政》

「西洋音楽が見た日本」というテーマのもとミハエル・ハイドンによる音楽舞台劇を取り上げる第1回に対して、第2回では「日本が見た西洋音楽」がテーマです。日本における西洋音楽の普及に多大な足跡を残したクラウス・プリングスハイム、そしてその同時代を生きた日本人作曲家、信時潔、高田三郎の作品群をお届けします。プリングスハイム、信時、高田の三人はいずれも、本学の前身である東京音楽学校にもゆかりの深い人物たちでもあります。彼らの作品を通じて、日本は西洋音楽をどのように受容し、自らの血肉としてきたのか。近代日本の音楽史に精通する片山杜秀、仲辻真帆とともに掘り下げます。

なかでも後半で取り上げるプリングスハイムの《山田長政》(1939)は、国内各地のアーカイブを訪ねるも完全版のスコアが現存しません。それを今回特別に、現在ドイツに在住するご遺族の了承のもと、本学作曲科卒業生による「補筆完成版」として上演します。

高山右近に材を採った《ティトゥス・ウコンドン》から約1世紀半。生涯をヨーロッパで過ごしたミハエルと対照的に、ドイツから日本へ渡り、タイでも暮らしたプリングスハイムが、奇しくも右近と同時代に活躍した日本の武将を取り上げた――。江戸から明治、大正、昭和と目まぐるしく移る時代のなか、<sup>あわい</sup>両作品を通してその「間」に思いを馳せていただければ幸いです。

### 第一部

信時潔《いろはうた》【無伴奏合唱】

信時潔《いろはうた》

(クラウス・プリングスハイム編曲)【チェロ、ピアノ】

高田三郎《山形民謡によるバラード》

(岡崎隆編曲)【弦楽合奏版】

### 第二部

クラウス・プリングスハイム

《山田長政》(小島夏香補作)



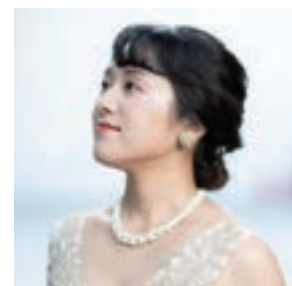
安良岡章夫 (指揮)



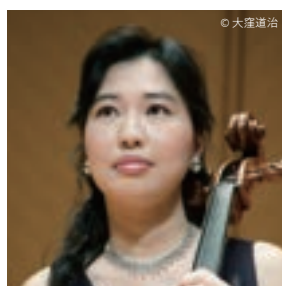
黒田祐貴 (バリトン/山田長政)



松岡多恵 (ソプラノ/リカ)



根本真澄 (ソプラノ/トカウハム)



向山佳絵子 (チェロ)



江口玲 (ピアノ)



谷本喜基 (合唱指揮)



小島夏香 (補作)



片山杜秀 (お話)



仲辻真帆 (お話)

一般 3,000 円  
学生 1,000 円 [全席自由]

- ヴォートル・チケットセンター：03-5355-1280
- チケットぴあ：Pコード《第1回：278-296》《第2回：278-298》
- 東京文化会館チケットサービス：03-5685-0650
- イ-プラス (e+)
- 東京芸術大学生協同組合 (店頭販売のみ)：03-3828-5669

※車椅子をご利用のお客様は、ヴォートル・チケットセンターまでお問い合わせください。

※就学前のお子様の同伴・入場はできませんのでご了承ください。

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合があります。

【お問い合わせ】東京芸術大学演奏芸術センター  
TEL:050-5525-2300

東京芸術大学ウェブサイト <https://www.geidai.ac.jp>